

住友商事マシネックス、平成22年度・環境省カーボン・オフセットモデル事業者として採択

住友商事マシネックス株式会社（代表取締役社長：那須雄次、本社東京中央区、以下SMX）は、7月から開始したカーボンニュートラル・空調用フィルターリサイクルサービスについて、「環境省主催平成22年度カーボン・オフセットモデル事業」に申請し、この度採択されました。（注1）本モデル事業は、低炭素社会へと転換する上で重要な手段の一つであるカーボン・オフセットの取り組みを普及・促進させるため、環境省がカーボン・オフセットの取り組みに関する事業計画を公募・選定し、カーボン・オフセットの取り組みの普及を図るものです。

現在、日本政府は2020年までに温室効果ガスを25%削減（1990年比）することを目標としており、各企業は企業の社会的責任（CSR）として、事業活動の中で地球温暖化対策への積極的な取り組みが求められております。空調用フィルターは、通常毎年新品に交換するのが主流ですが、SMXは以前より「産業廃棄物削減」「メンテナンスコスト削減」を目的として使用済みの中性能フィルターを超音波で洗浄・再生して再利用する方式の空調用フィルターリサイクルサービスを積極的に展開してきました。今回、更に環境に貢献できるサービスにするべく、住友商事がインド・クジャラト州で取り組んでいる温室効果ガス削減の排出権をオフセットして、完全なカーボンニュートラルを実現するビジネスモデルに取り組んでいます。

本ビジネスモデルは、製品のみならず洗浄という役務に対しても排出権を全量オフセットするという点で先進的な事例であり、民間企業が地球温暖化対策への取組みとしてカーボン・オフセット製品・サービスを採用する波及効果が期待出来ます。

今後、SMXはエアフィルターリサイクルサービスに環境価値を付与することにより、エアフィルターリサイクルサービスが企業の地球温暖化防止対策として採用されるきっかけとなり、カーボン・オフセットを利用した環境にやさしい製品・サービスの普及拡大を見込んでおります。

サービスの詳細はこちら：<http://www.smx.co.jp/ecoright/>

（注1）「環境省主催平成22年度カーボン・オフセットモデル事業」採択について

<http://www.env.go.jp/press/press.php?serial=12820>

■ 本件に関するお問い合わせ

住友商事マシネックス株式会社 東京環境・建築設備部 鈴木、橋沢

TEL：03-5560-7393 e-mail：ecoright@smx.co.jp